

安心して暮らす

相手への思いやりで 交通事故を防止しよう

昨年の交通事故死亡者数は36人で、そのうち歩行中に亡くなられた方は12人でした。このうち7人が夜間の事故で亡くなっています。

夜間の歩行者事故を防ぐため、ドライバーは早めのライト点灯、歩行者は反射材用品を着用して、お互いの発見に努めましょう。

また、佐賀県内で発生した交通事故のうち、約半数は追突事故となっていますが、「前をよく見る」「車間距離を十分に取る」ことで、事故は防止できます。加えて、追突事故は、前を走る車の思いがけない動きも



要因の一つとなっています。早めの合図やブレーキで後続車に自分の車の動きをしっかりと伝えることも大切です。

犯罪被害にあわれた方々に寄り添い、温かく支える地域社会へ

県では、「佐賀県犯罪被害者等支援条例」に基づき、平成30年3月に「佐賀県犯罪被害者等支援推進計画」を策定しました。

計画では、①犯罪被害者等に対する各種情報の提供等、②精神的・経済的支援、③関係機関相互の連携、④理解の増進を重点4項目と定め、犯罪被害にあわれた方とそのご家族に寄り添い、次に進む一歩を踏み出せるよう支援を行います。

具体的には、犯罪被害者等支援コーディネーターを設置して、関係機関の連携を強化するとともに、弁護士への法律相談費用の助成を行います。また、大学生等への出前講座などを通じて、犯罪被害者等に対する理解促進に取り組みます。

Topics! 【トピックス】

伝えよう佐賀の災害歴史遺産

県内に残された災害にまつわる歴史的な遺産や遺構。しかし、そこに刻まれた経験や教訓は、あまり知られていません。

地域の防災力を向上させるため、こうした災害歴史遺産を掘り起こし、教訓として後世に伝えていきます。



▲ 昭和37年の大水害を契機に始まった「鹿島おどり」



▲ 個人宅の壁に残る昭和28年の大水害の時の水位跡

「COOL CHOICE」で 豊かな環境を未来へ!

温暖化が進むと、大雨などの異常気象により、自然環境や人の暮らしに重大な問題を引き起こします。

そのため、県では、今よりもう一歩進んだ温暖化対策として、未来のために考えて行動しよう、選ぶとういう「COOL CHOICE(賢い選択)」の考え方を発信しています。

例えば、照明器具やエアコンを消費電力が安いものに買い替えたり、車の運転時には燃費のいい運転を心掛けたり、住宅を



未来のために、いき選ぼう。

省エネ



省エネタイプに新築・改築することをすすめています。

みんなで「賢い選択」を積み重ね、安心して暮らせる佐賀の豊かな環境を未来の子どもたちに引き継ぎましょう。

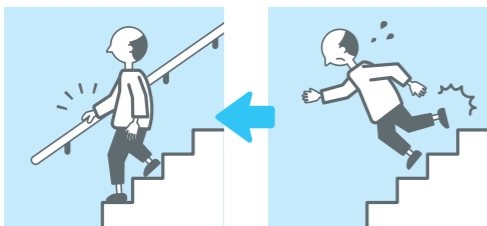
高齢になっても 安心して暮らせる 住まいにしませんか?

一番安心できるはずの自宅で、段差につまずいて転倒、転落する事故が起きています。

県内には、「段差が多い」「手すりがない」などのバリアフリー化されていない住宅も多く、特に高齢者が暮らしている住まいで多くなっています。

必要になってからと考えるのではなく、早めの対策に取り組むことが重要です。

県では、多くの方に住まいに潜む危険性やバリアフリー化の



▲ 手すりの設置

必要性について知ってもらうため、テレビCMの放送やパンフレット等の作成・配布を行います。また、住まいのバリアフリー化に安心して取り組むことができるよう、在宅生活サポートセンターでの建築士による相談窓口を設置します。

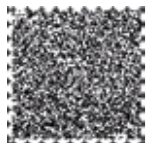
ぜひ一度、ご自宅を見つめ直してみませんか?



▲ 在宅生活サポートセンター(バリアフリーモデル住宅)の様子

詳しくは

【温暖化対策】環境課 ☎0952-25-7079 ✉kankyou@pref.saga.lg.jp
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/> **COOL CHOICE**
 【住まい】建築住宅課 ☎0952-25-7165 ✉kenchikujuutaku@pref.saga.lg.jp



詳しくは

【交通安全】警察本部 交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
 【犯罪被害者支援】くらしの安全安心課 ☎0952-25-7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp
 【災害遺産】消防防災課 ☎0952-25-7026 ✉shouboubousai@pref.saga.lg.jp

